

4 / 8 / 16Ch省スペースハイグレードデジタルビデオレコーダー

NS-8040R

NS-8080R

NS-8160R



取扱説明書

このたびは本商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。
製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。



■主な特徴

●ファンレス・コンパクトサイズDVR

耐熱設計により冷却用ファンをなくすことで音が気になる方の寝室等にも設置しやすくなりました。

●動画圧縮方式

優れた伝送、圧縮効率を持つ最新の圧縮ソフトH.264を採用することでより長時間の記録保存が可能となりました。

●クワッドディブレックス

ライブ中はもちろん、再生中の録画/ネットワーク監視も同時に行えます。

●ネットワーク機能(CMS対応)

インターネットに接続することで、遠隔地のPCからもライブ映像のモニタリング及びリモート検索・再生が行えます。(ダイナミックDNS(DDNS)対応)

さらにi-Phone・Androidなどのスマートフォンからも遠隔モニタリングが可能となりました。

●USBフラッシュメモリーによる簡単なバックアップ

本体パネルの前面にあるコネクタに市販のUSBフラッシュメモリーを取り付けることにより、映像データを簡単にバックアップ/コピーすることができます。(USBフラッシュメモリー:4GB~8GB対応 最大1時間/16ファイルまで)

●モーション録画機能

スケジュール録画、モーション録画/連続録画との併用も可能です。

●リモコン、マウスによる操作も可能

付属のリモコン及び市販のマウスでの操作も可能です。

●音声の記録

1台の音声付カメラの音声も同時に記録できます。

●CMS(遠隔集中モニタリングシステム)

付属のCMSソフトをPCにインストールすることで、複数箇所のDVRを64CHまで一括モニタリングが可能です。

●スマート機能

HDDのクラッシュを未然に防止するため、HDD温度監視機能を搭載しました。

■より安全にお使いいただくために

1. お使いいただく前に「取扱説明書」を十分にお読み下さい。
2. 「取扱説明書」は大切に保管して下さい。
3. 機器を清掃する場合は、必ず前もってコンセントからプラグを抜いて下さい。
汚れたら液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないで、乾いた布でふき取って下さい。
4. 弊社製品以外の付属品は、火災・感電・けがの恐れがあるため使用しないで下さい。
5. 機器を水まわりの近く(例:浴槽・流し台・洗濯機・湿気の多い地下・雨の入る半屋外など)に設置したり、使用したりしないで下さい。
6. 不安定な場所に機器を設置しないで下さい。
機器が落ちてケガをしたり、機器そのものが損傷することがあります。
7. 電源は日本国内の商用周波数AC100V±10%をご使用ください。
8. 雷が発生している際や、長期間お使いにならない場合は、雷や送電線からのサージ(=電流・電圧の瞬間的な過電流、過電圧)の侵入を避けるため、電源、映像線、その他の接続ケーブルを外して下さい。

9. コンセントや延長コードに過電流を流さないようにして下さい。火災や感電の恐れがあります。
10. 機器ケースを開け内部の基板に接触しないで下さい。電圧個所に触れることで、感電や、部品がショートしての火事につながる恐れがあります。
11. 機器をご自分で修理しないで下さい。修理・整備点検は販売店や専門のサービス担当にご依頼願います。
12. 通気口を異物でふさがないでください。温度上昇によって、故障や火事につながる恐れがあります。
13. 次のような場合は速やかにプラグをコンセントから抜き、販売店や専門の技術者にご相談下さい。
- A) 電源コード及びプラグが損傷したとき。
- B) 機器の中に液体をこぼした場合、または異物が中に入った場合。
- C) 機器が雨や水に濡れた場合。
- D) 「取扱説明書」にしたがって作動させても正常に動作しない場合。不適切な調整は、機器に損傷を与えるばかりでなく、機器を正常動作に復元するために専門技術者による長時間にわたる作業が必要となる可能性があります。
- E) 機器を落としたり、カバーを損傷したりした場合。
- F) 機器の性能が著しく劣化して、修理が必要になったとき。
14. 部品交換が必要になった場合、弊社の指定部品または同等性能部品かどうかを確認してご使用下さい。指定外の部品をご使用になると火災や感電等の恐れがあります。
15. 機器の修理や点検を受けたときは、専門の技術者に安全確認をもらい、適切な作動状態にあるか、正常な動作をしているかを確認してもらって下さい。
16. 設置は専門の技術者に任せ、運用にあたっては法律条令を確認して下さい。
17. 仕様書に明示されている動作温度環境内で運用して下さい。
18. ラック内等に設置すると、ラック内の温度が室内の温度より高くなることがありますので、ご注意下さい。
19. ラック内に設置する際は、安全に運用するため十分に空気の流れがあることが必要となります。
20. ラック内に設置した機器の上などに他の機器などを重ねて置いたりしないで下さい。
21. 備え付け電源への機器の接続の際、過電流保護回路、すでに供給されている電気配線へ負荷を与えすぎないように気を付けて下さい。不明な時は機器に表示されている電気容量を参考にしてください。
22. ラック内に設置された機器は適切にアースがなされていることを確認して下さい。分岐回路へ直接接続する場合(例: 電源ストリップを使用する)を除いては、電源の接続は特にご注意下さい。

注意:

●本製品は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画する事を目的とした装置ですが、すべての映像を監視する事を保障したものではありません。

機器の不具合によって映像が録画されていない場合、弊社および販売店では責任は一切負いません。あらかじめご了承ください。

●本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するものではありません。

●本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。

●本製品の記録媒体に使用しておりますハードディスク(HDD)は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入り切り、停電からの復旧による突入電流などによる電氣的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。作動時間が2万時間を超えた頃より書き込みエラーが発生しやすくなり、3万時間を超えると寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも機器周辺温度を20℃以下に保ち、18,000時間を目安にHDDを交換することをお勧めいたします。

●HDDの交換は、販売店もしくは弊社宛ご依頼願います。(有償となります)なお、HDDの交換や、機器修理の際、録画済みのHDDのデータは消去させていただきますのであらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	
1.1 梱包内容	6
1.2 前面	6
1.3 背面	7
1.4 リモコン	7
2. 製品の設定	8
2.1 スタート	8
2.2 最初の画面	8
2.3 画面のレイアウト	9
2.3.1 ライブ表示モードのアイコン	9
2.3.2 再生アイコン	10
2.3.3 その他のアイコン	10
2.3.3.1 HDD の状態	10
2.3.3.2. 画面表示の状態	10
2.3.3.3. チャンネルアイコン	11
2.3.3.4. USB アイコン	11
2.3.3.5. ネットワークアイコン	11
2.3.3.6. リモコンID アイコン	11
2.4. リモコンのその他の機能	11
2.4.1. 単画面表示	11
2.4.2. 四分割表示	11
2.4.3. OSDの表示、非表示	11
2.4.4. PIP モード (画面内子画面)	11
2.4.5. シーケンスモード	12
2.4.6. デジタルズーム	12
2.5. マウス操作	12
3. メニュー	13
3.1. メニューを表示する	13
3.1.1. DVR設定	13
3.2. DVR設定の保存/取消	13
3.2.1 ディスプレイ	13
3.2.1.1. OSD	14
3.2.1.2. ディスプレイ - ライブ - 切替シーケンス (全画面)	14
3.2.1.3. SPOTで見る場合 - 画面切替 (全画面)	14
3.2.1.4. DEINTERLACE	15
3.2.2. カメラ	15
3.2.2.1. 一般	15
3.2.2.2. PRIVATE ZONE	16
3.2.2.3. PTZ設定	16
3.2.2.4. プリセット	16
3.2.2.5. スキャンポイント	16
3.2.2.6. カラー	17
3.2.2.7. ポジション	17
3.2.3. 録画	17
3.2.3.1. パラメーター	18
3.2.3.2. スケジュール	18
3.2.3.3. ウォーターマーク (偽造防止) 表示	19
3.2.3.4. その他	19
3.2.4. イベント	19
3.2.4.1. モーション	20
3.2.4.2. センサー	20
3.2.4.3. ビデオロス	20
3.2.4.4. E-MAIL SCHEDULE	20

3.2.4.5 ALARM SCHEDULE	21
3.2.4.6 FTP SCHEDULE	21
3.2.4.7. その他	21
3.2.5. ストレージ	21
3.2.5.1. HDD フォーマット	21
3.2.5.2. HDD SMART	22
3.2.6. ネットワーク	22
3.2.7. システム	22
3.2.7.1. 構成	22
3.2.7.2. 時間	23
3.2.7.3. 入力機器	23
3.2.7.4. ユーザー	24
3.2.7.5. アップグレード	24
3.2.7.5.1. USBアップグレード	24
3.2.7.5.2. ネットワークのアップグレード	25
3.2.7.6. DVRをOFFにする	25
3.3. 録画検索	25
3.3.1. 日時検索	26
3.3.2. カレンダー検索	26
3.3.3. イベント検索	26
3.3.4. 最古映像	26
3.3.5. 最新映像	26
3.4. 機能	26
3.4.1. PTZ操作	26
3.4.1.1. PTZ 基本	27
3.4.1.2. PTZ 詳細 アドバンスメニュー	27
3.4.2. 音声	27
3.4.3. バックアップ	28
3.4.4. ログビュー	28
3.5. OSD	28
3.6. 手動録画	28
3.7. ログアウト	29
4. トラブルシューティング	29
仕様書 / 録画時間目安表	
保証書	

1.1 製品梱包内容

製品をご使用になる前に箱を開けたらすぐに、次の製品（付属品）がすべてあるかどうかをチェックしてください。これらの製品のいずれかがないか破損している場合、すぐに販売店にお問い合わせください。

DVR本体



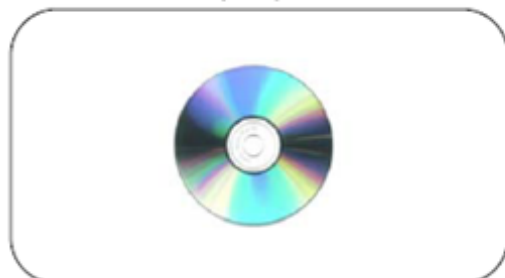
リモコン バッテリー



電源アダプター



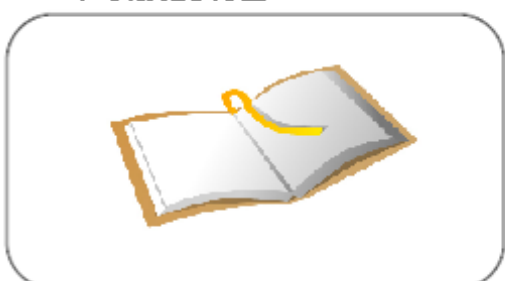
ソフトウェア(CD)



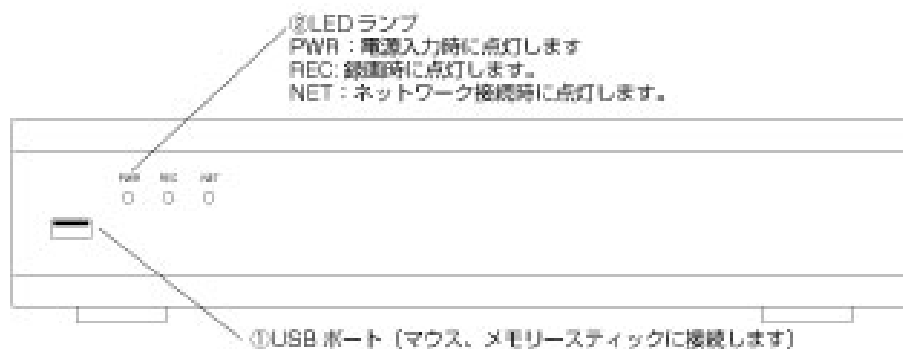
電源ケーブル



本取扱説明書

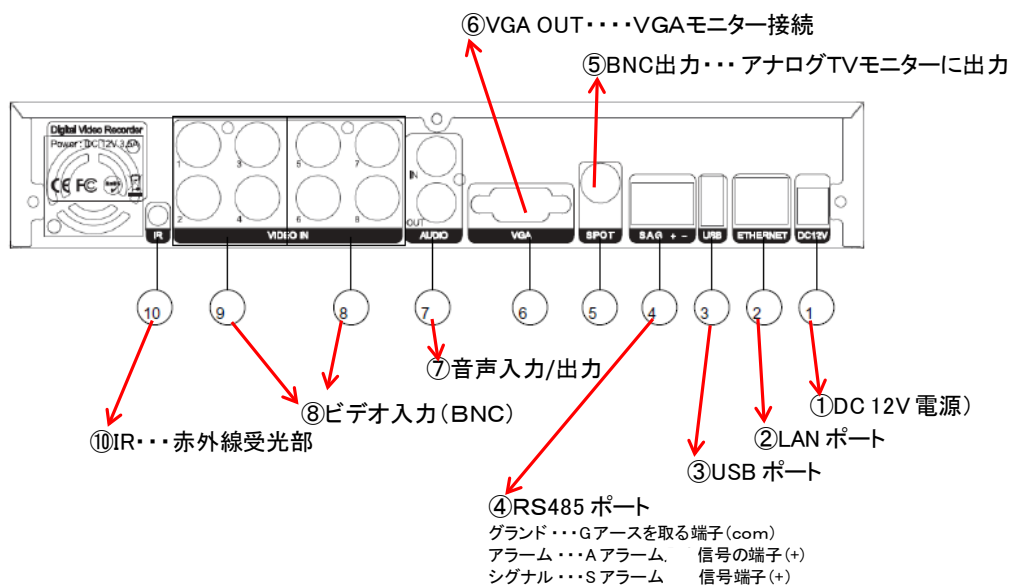


1.2 前面パネル



※NS-8080R、NS-8160Rは、LEDの位置がパネル中心部にあります。

1.3 背面

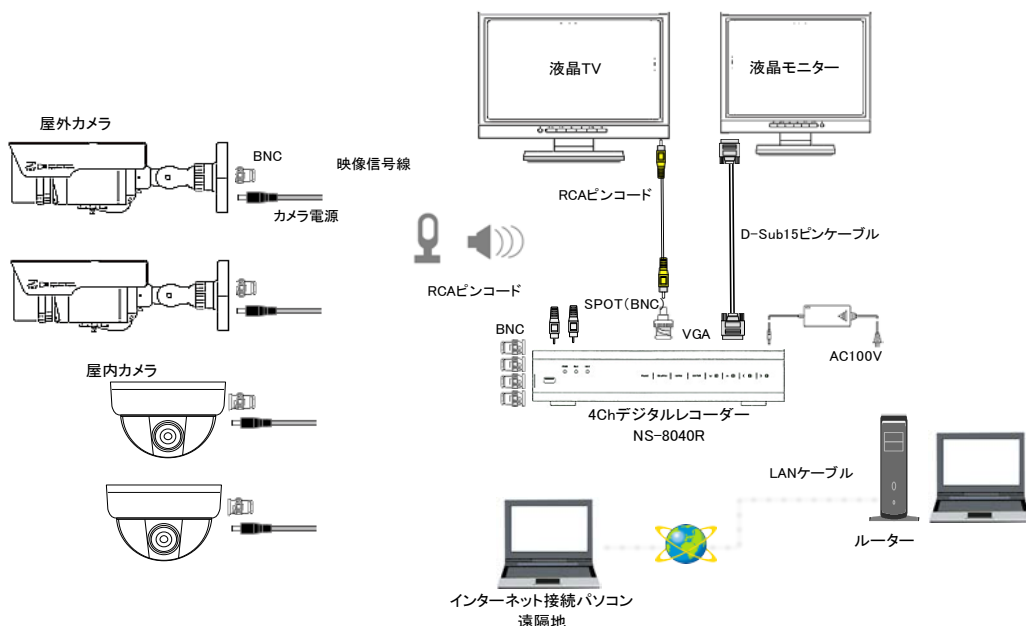


※⑧については、図はNS-8080Rを使用しています。NS-8040R、NS-8160Rではこの端子部分がチャンネル数に応じた数になります。

1.4 リモコン



2. 製品の設定



注意: DVRから映像出力は、VGA出力端子とSPOT (BNC) 出力端子があります。推奨はVGA出力ですが、併用で出力することができます。SPOT出力端子からのみでテレビジョンへ映像を出力する場合、絶対にSPOT設定にしないでください。(MENU→機能→VIDEO OUT→COMPOSITE、出荷時はCOMPOSITE設定になっています。)
SPOT設定にした瞬間から、リモコン・マウスともに動作しなくなり、VGA出力のみで動作させなければ回復しません。(2012.4月以降の製品ではリモコンのスポットボタンでBNC出力⇄SPOTの切り替えができます。また、それ以前の型でもバージョンアップで改良することができます。)
SPOTとは特定のカメラの映像(単画面、シーケンシャル、4分割)を固定して見る場合に使用するもので、あくまでVGA出力と併用するものです。通常は使いません。

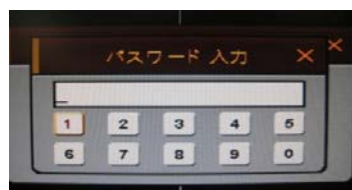
2.1 スタート

付属の電源アダプターを電源コンセントに接続してください。

アダプターには電源スイッチはありません。そのままDVRに接続されると「Loading」と表示され、その後しばらくしてから自動的にスタートします。

2.2 最初の画面

DVRが起動されると下の画面が現れます。



起動が終わると以下の画面が表示されます。

マウスまたはリモコンのアップ/ダウンキーを使ってPASSWORDのウィンドウにポインタを移動させます。次に、マウスをクリックまたはリモコンのENTERボタンを押します。パスワード入力画面が出たら「0,0,0,0」の4ケタのパスワードを入力します。

* 初期値は「0,0,0,0」の4ケタです。再びログインのウィンドウが表示され、「LOG IN」アイコンを選択すればDVRをスタートできます。次にリモコンのENTERボタンまたはマウスの右クリックを押します。

承認された管理者以外は、「The password is incorrect」と表示されます。その場合メニューにアクセスすることはできません。



2.3画面のレイアウト

機能の選択内容に応じて以下のアイテムを見ることができます。



2.3.1 ライブ表示モードのアイコン

ライブ表示モードでは、アイコンがシステムモードまたは状態を通知するために画面に表示されます。

以下がモニターに示されているアイコンのカテゴリです。

それぞれのチャンネルの右上部に 表示されるアイコン		それぞれのチャンネルの左下部に 表示されるアイコン	
	1チャンネルの特定のフル画面を選択		モーションが作動中
	分割画面モード		センサーが作動中
	HDD残容量		PTZ使用
	バックアップにUSBメモリーを使用		録画中
	ネットワークにアクセス中		
	リモコンのIDがセット中		
フル画面のとき表示されるアイコン			
	シーケンシャルモード		
	デジタルズーム2倍		

2.3.2. 再生アイコン

検索モードを選択した時、画面の上部に表示されます。



	現在の状況	＊この四角形は再生の現在の状態を示します。 ▶ マークを選択すると▶に変化します ▶▶を選択すると▶▶に変わります
	巻き戻し	巻き戻しの速度コントロール 静止画モードのときはフレームごとに変化
	再生/静止	再生または静止画
	早送り	早送りの速度コントロール 静止画モードのときはフレームごとに変化
	停止	再生を中止してライブモードへ戻る メニューボタンでも再生を中止
	クイック検索	このアイコンを押すと、検索のサブメニューがホップアップ*
	再生速度	-<<< / >>> x8, x32, x128 倍速

再生バーの使用方法

－ Searchボタンで検索を開始します。

ライブモードにてリモコンのSearchボタンを押して検索サブメニューの一つを選択すると、選択したポイントからデータの検索を始めます。

再生モードの選択

検索方法を変更するには、画面上のサブメニューでモニターアイコンをクリックして選択します。

◀◀ / ▶▶ボタンで再生速度をコントロールできます。

■（停止ボタン）をクリックした後、OKアイコンをクリックすればライブモードに戻ります。誤ってクリックした場合は取消アイコンをクリックしてください。



2.3.3. その他のアイコン

2.3.3.1 HDD の状態

HDDの使用量(%)を表します。

2.3.3.2. 画面表示の状態

画面の表示方法を選択

ライブモードでは、PIP、シーケンシャル、4(8)(16)分割画面が選択できます。

2.3.3.3. チャンネルアイコン

画面のチャンネルを、1～4(～8)(～16)チャンネルの順に切り替えます。

2.3.3.4. USB アイコン

DVRにUSBフラッシュメモリーを接続したときに表示されます。

2.3.3.5. ネットワークアイコン

CMSやウェブでネットワーク操作しているときに表示されます。

2.3.3.6. リモコンID アイコン (画面右上の数字)

この機能は、DVRが複数台ある場合に、リモコンを使い分けるときに使用します。DVRのIDを変更した数値を表示します。「DVR設定」→「システム」→「入力機器」でシステムIDを設定します。

リモコンとDVRのIDが一致しているとIDアイコン(数字:画面の右上に表示)は黄色く表示されます。

システムID(DVRのナンバー)とリクエストID(リモコンのナンバー)が一致しないとアイコンが「赤」になり、この表示ではリモコン操作を受け付けません。

「キーボード」は入力する機器がキーボードのとき、種類を選択します。通常は使用しません。

「キートーン」をオフにするとリモコンやマウスの操作音が消えます。

2.4. リモコンのその他の機能

2.4.1. 単画面表示

リモコン左下の□ボタンを押してください。 □ボタンを押すたびに、表示は次の画面へ移動します。

またはリモコンの希望の数字のボタンを押してください。

2.4.2. 分割表示

分割表示に切り替える場合はリモコンの  ボタンを押してください

2.4.3. OSDの表示、非表示

OSD(画面内アイコン)を表示したり非表示にするにはOSDボタンを押します。

セットアップメニューからでのみ、ステータスバーを非表示にすることができます。

DVRにコマンドがない場合はステータスバーは非表示になります。

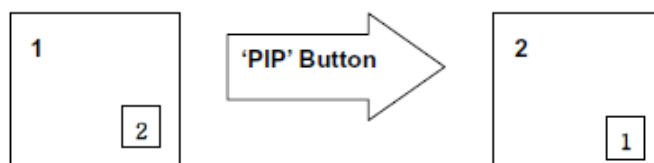
任意のボタンまたはマウスのクリックでステータスバーは再び表示されます。

2.4.4. PIP モード (画面内子画面)

全画面表示モードの場合に、小さなウィンドウで他のカメラを見ることができます。

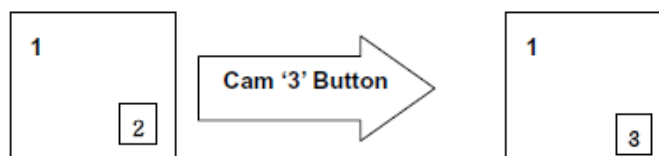
(1)リモコンのPIPボタンを押す。

(2)PIPモードでもう一度PIPボタンを押すと、二つのスクリーンの位置が互いに変更されます。



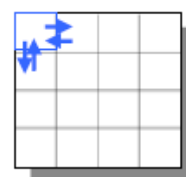
(3)PIPモードのとき、リモコンの数字を押すと、小さな画面を変更することができます。

例:)



(4)リモコンの方向ボタンを押すか、マウスのドラッグで目的の位置に子画面を移動できます。

PIPを終了するには□または  ボタンを押してください。



2.4.5. シーケンスモード

単画面または各分割画面で、SEQボタンを押すと、画面は自動的にシーケンスします。

初期値は2～3秒間隔のチャンネル変更です。1～99秒の間で間隔を変更できます。

また、好みのチャンネルを選択できます。

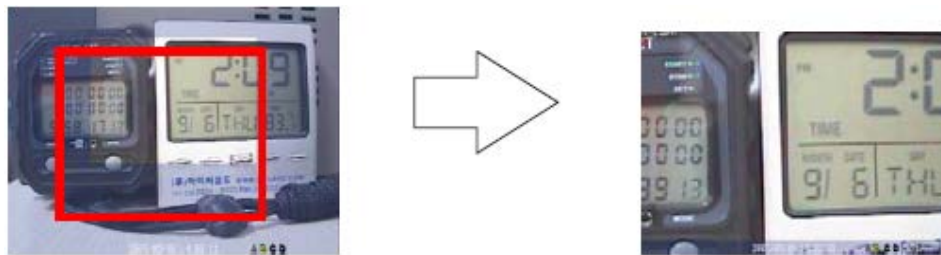
シーケンスモードの設定は「DVR設定」→「ディスプレイ」→「ライブ切替え」→で設定します。

2.4.6. デジタルズーム

単画面モードのとき、リモコンのZOOMキーを押すとデジタルズーム機能が作動します。

リモコンの方向ボタンを押すと、ズームエリアのウィンドウが移動します。

Enterキーを押すと、ズーム選択された領域が全画面として表示されます。



注意: このモードはVGA接続のときのみ実行でき、SPOT (BNC) 接続のときは作動しません。

2.5. マウス

システムは、USBマウスをサポートしています。

USBマウスを接続するだけでDVRが自動的に認識します。

注意: USBマウスの製品によっては互換性がない場合があります。

画面モードの変更

マウスの左ボタンでアイテムを選択します。マウスの右ボタンはメニューテーブルをキャンセルする場合、または元のメニューモードに行くときに使います。

また、基本画面でマウスの右ボタンを押すと次のウィンドウが表示されます。

* 特定の画面で左ボタンをダブルクリックすると、全画面モードに変わります。もう一度ダブルクリックすると前の画面に戻ります。

* PIPモードのとき、子画面を変えたいときはチャンネルアイコンをクリックし、変更したいチャンネルをクリックします。

3. メニュー

3.1. メニューを表示する

リモコンでMENUボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてください。
メニューのウィンドウは以下のように画面の左側に表示されます。



3.2. DVR設定の保存/取り消し

DVRへの設定変更を、保存またはキャンセルするには

設定の保存 : 各ウィンドウで[OK]アイコンを選択すると設定が保存されます。

設定を取消 : 各ウィンドウで[取消]アイコンを選択すると解除されます。

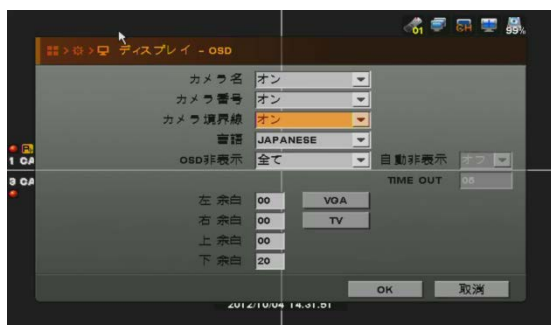
3.2.1 ディスプレイ

DVR設定をクリックしてから、ディスプレイアイコンをクリックすると、メニューは4つのサブメニューに分かれています。

(OSD、ライブ切替(フル画面)、DEINTERLACE、VGA解像度)

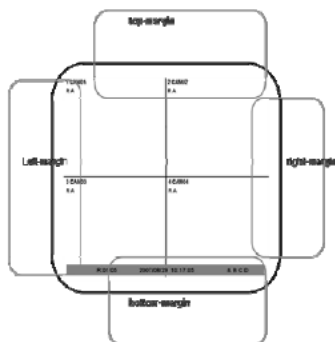


3.2.1.1. OSD



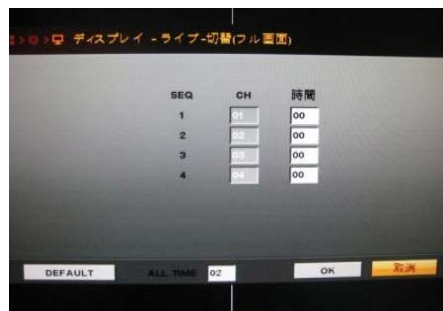
選択するそれぞれのアイコンを画面の中で選べます。
 ●カメラ名 - 各カメラ名表示のON/OFFを選択します。
 ●カメラ番号 - 各カメラ番号表示のON/OFFを選択します。
 ●カメラ境界線 - 縦横のチャンネル境界ライン表示をON/OFF選択します。
 ●言語 - OSD画面の表示言語を選択します。JAPANESEを選択します。
 ●OSD非表示 - すべてのOSD表示、時間表示、アイコンバーの非表示を選択します。

- 自動非表示 - DVRを使用していない時に自動的にステータスバーを隠します。
- 左 余白 - 左端へOSD表示(例:カメラ番号、カメラ名、ネットワーク、USB表示など)を移動させます。
- 右 余白 - 右端へOSD表示(HDD、POP例:アイコン、CHステータスなど)を移動させます。
- 上 余白 - 画面上部のOSD表示(HDD、POPの例:アイコン、CHの状態など)を移動させます。
- 下 余白 - 画面下部のOSD表示(タイムバーなど)を移動させます。



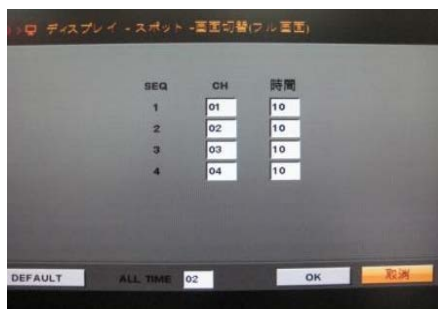
●VGA/ TV - VGA/スポット出力に応じて自動的にOSDのマージンを調整します。
 OSDを設定した後、選択したOSDを非表示にするにはメニューのアイコンをOSD-OFFにしてください。

3.2.1.2. ディスプレイ-ライブ-切替シーケンス(フル画面)



-SEQ:シーケンス内のフル画面(全画面)切替におけるスイッチング時間を設定します。
 - CH: チャンネルを入力します。(1~4(8)(16)CH)
 - 時間: スwitchング時間を入力(秒単位)。(スキップしたい場合は該当チャンネルの時間を00とします。)
 -DEFAULT: 工場出荷時のデフォルト値に戻します。
 - ALL TIME: すべてのチャンネルに同じ切替時間が設定されます。(秒単位)

3.2.1.3. SPOTで見る場合 -画面切替(フル画面)



DVRから映像出力は、VGA出力端子とSPOT(BNC)出力端子があります。推奨はVGA出力ですが、併用で出力することができます。SPOT出力端子からのみでテレビジョンへ映像を出力する場合、絶対にSPOT設定にしないでください。(MENU→機能→VIDEO OUT→COMPOSITE、出荷時はCOMPOSITE設定になっています。)
 SPOT設定にした瞬間から、リモコン・マウスともに動作しなくなり、VGA出力のみで動作させなければ回復しません。(2012.4月以降の製品ではリモコンのスポットボタンでBNC出力⇄SPOTの切り替えができます。また、それ以前の型でもバージョンアップで改良することができます。)

SPOTとは特定のカメラの映像(単画面、シーケンシャル、分割表示)を固定して見る場合に使用するもので、あくまでVGA出力と併用するものです。通常は使用しません。

-SEQ:スポット出力におけるシーケンス内のフル画面(全画面)切替のスイッチング時間を設定します。

-CH:画面を切り替える順番ごとにCH番号を入力します。

-時間:スイッチング時間を入力(秒単位)。

-DEFAULT:工場出荷時のデフォルト値に変更します。

-ALL TIME:すべてのチャンネルに同じ時間だけ入力されます。(秒単位)

3.2.1.4. DEINTERLACE



ONとOFFがあります。

D1(720×480)解像度で録画した録画映像をプログレッシブで再生する場合は、「オン」とします。

3.2.2. カメラ



カメラのアイコンをクリックすると、カメラメニューは7つのサブメニューに分かれます。

一般、PRIVATE ZONE、PTZ、プリセット、スキャンポイント、カラー、ポジションの設定画面があります。

3.2.2.1. 一般



●タイトル - 各カメラの名前を入力してください。

英語で最大15文字を入力することができます。

●非表示 - ライブモードで指定したチャンネルの映像を表示または非表示に選択できます。

カメラを非表示にする場合は、ONに設定します。

●音声 - 接続したオーディオチャンネルを選択します。

音声は選択したチャンネルの単画面時にのみ表示されます。

※1~4(8)(16)CH選択



●テキスト入力ボックスの文字入力方法

(1)名前ボックスにポインタを移動してクリックします。

(2)方向ボタンで目的の文字にポインタを移動。

(3)ENTERボタン、または目的の文字をクリックします。

(4)選択した文字がテキストウィンドウに表示されます。

(5)目的の文字を選択、[OK]アイコンをクリックします。

* 文字の消去は ← を指定します。

3.2.2.2. PRIVATE ZONE

プライバシーを保護するために、画面上に記録できないゾーンを設定することができます。



●プライベートゾーンの設定方法

- (1) 選択したい長方形のゾーンを移動し、ポインタをクリックします。
- (2) 別の長方形のゾーンを移動し、ポインタをクリックすると、プライベートゾーンは、合計の矩形として設定されます。

3.2.2.3. PTZ設定



●ID - PTZカメラのIDを入力してください。

●プロトコル - カメラのプロトコルタイプを選択します。

●BAUD - カメラのボーレートを選択します。

※PTZ機能の有るカメラを設置する場合にのみ設定します。

※1～4(8)(16)CH選択

3.2.2.4. プリセット



●カメラ-プリセット位置を設定するカメラを選択します。

●ページ - 次のページへ移動。

●全てクリア - 保存されたすべてのプリセットを解除。

- (1) カメラを選択します。
- (2) 「セット」アイコンを選択します。
- (3) カメラのPTZ制御画面が表示されます。
- (4) 目的のポイントへパン、チルト、ズームして移動。
- (5) 保存するにはPTZ制御画面「ADVANCE」アイコンをクリック。キャンセルするにはマウスまたはMENUボタンキーで画面上の任意の位置をクリックします。



- (6) 設定をキャンセルしたい場合、任意の番号、任意の名称の「CLE」のアイコンをクリックしてください。

アイコン「全てをクリア」をクリックすると、任意の番号、任意の名称のすべての値はクリアされます。

注:- システムはPTZデバイスの特定の位置を記録します。

- この機能を使用する前に、カメラがプリセットサポートしていることを確認してください。

- 各カメラ毎に合計64プリセットポイントを、保存することができます

3.2.2.5. スキャンポイント

●カメラ - スキャンポイントを設定するには、カメラを選択します。

●リスト - 別のスキャンリストを作成。

●プリセット - 任意のプリセットポジション選択。

●全てクリア - 保存されたすべてのスキャンポイントを取り消します。

注-スキャンポイントメニューでは、保存したプリセットポジションを使用してPTZツアールート(スキャンリスト)を設定できます。

-各カメラの4スキャンリストを作成することができます。スキャンリストを設定する前に、PTZプロトコルとプリセット

ポジションを設定してください。

—各カメラ 最大4スキャンリストを作成できます。



例:カメラ1は次のように保存した位置に移動します。

PTZ04□3秒□PTZ12□3秒□PTZ04□3秒□PTZ12□3秒□PTZ04.....

3.2.2.6. カラー



- カメラ - 設定するカメラを選択します。
- 明るさ-明るさを調整します。
- コントラスト -コントラストの調整。
- カラー -彩度を調整します。
- 色/ ヒュー - 色相を調整します。
- デフォルト - 工場出荷時のデフォルト値を設定します。

3.2.2.7. ポジション



- カメラ - 位置を調整するカメラを選択。
- 左/右 - 映像の位置を左右に微調整します。
- デフォルト-工場出荷時の値へ設定します。

3.2.3. 録画

「録画設定」アイコンをクリックすると4つのサブメニューが表示されます。



(パラメーター、スケジュール、ウォーターマーク、その他)

3.2.3.1. パラメーター

●解像度 - 記録する画面のサイズを指定するには、このメニューを使用します。



録画面質	映像画質	ディスク容量
基本	低い	最小
普通	相当	中間
高	良好	大きい
最高	優れる	最大

※1~4(8)(16)CH選択

●イベント

- イベント発生時の記録画質やフレームレートを選択することができます。
- モーション録画、センサー録画、マニュアル録画が併用できます。
- 各チャンネルは、それぞれ異なる画質やフレームレートを選択することができます。

●連続

- 設定から録画面質を「基本、普通、高、最高」から選択でき、フレームレートも選択することができます。
- 連続録画及びイベント録画(スケジュール録画の複合設定)で設定可能です。
- 各チャンネルは、それぞれ異なる画質やフレームレートを選択することができます。
- 連続モードでのフレームレートは、イベントモードのフレームレートを超えることはできません。

※イベントのフレームレートを8フレーム/秒として設定した場合、連続モードでは8フレーム/秒以下となります。運用例として、普段は連続録画で低画質に、モーション検知時にのみフレームレートを高くし高画質で録画という振り分け方ができます。

●全て

全てのチャンネルを、選択した解像度または画質やフレームレートに一括設定します。

※上記の設定は、各種RECモードと連動します。設定の順番として、まずはどのRECモードを選択するか、決定してください。(P19参照)

3.2.3.2. スケジュール

□スケジュール設定に従ってシステム録画をします。

□それぞれのカメラに週間スケジュール(時間ベース)を指定します。



- ▶WATCH: 手動録画。
- ▶CONTINUOUS: 24時間連続録画。
- ▶EVENTS: イベント(モーション/センサー)が発生した時に録画開始。
- ▶CONT+EVENTS: 連続録画とイベント録画を併用して録画。イベントがない場合、CONTINUOUS(連続)モードで録画します。イベントがある場合は、設定したイベント用のフレーム設定で録画します。

マウスを使用する場合、ドラッグ機能により、それらを選択することができます。

注: 表の横軸は時間を意味します。(例: 0は00:00~00:59)

3.2.3.3. ウォーターマーク(偽造防止)表示

ウォーターマークのウィンドウでオンを選択した場合、録画データには透かしのマークが入ります。
データの検証は、偽造かどうかに関係なくバックアップビューアで確認することができます。

3.2.3.4. その他

●上書き

上書きでオンを選択した場合HDDが一杯になると、最も古いファイルは、新しく記録されたデータによって上書きされます。

上書きでオフを選択した場合HDDが一杯になると、録画を停止します。

オン選択することをお勧めします。

●自動削除

設定した日数より以前の録画データは自動的に削除されます。

0(ゼロ)の値は自動削除の機能をOFFにします。

●REC MODE

- SCHEDULE - スケジュール設定に従って録画します。

- CONTINUOUS - 連続録画設定になります。

- EVENT - モーション録画などイベント録画と、スケジュールに関係なく実行します。

注意

※REC MODEの設定内容は、全ての録画設定に反映されます。

※CONTINUOUS選択時は、スケジュール設定、モーション設定などは一切実行できません。
同様にEVENT設定時は、連続録画とスケジュール録画は実行できません。

※SCHEDULEを選択すると、スケジュール設定画面(P18)の設定が優先されます。この画面で全日程をCONTINUOUSに選択すると、連続録画と同じ設定になります。イベント録画時も同様です。



3.2.4. イベント



注: メニューの中でイベントを選択すると、9つのサブメニューにアクセスすることができます。

(モーション、センサー、ビデオロス、E-MAIL、FTP、E-MAIL SCHEDULE、ALARM SCHEDULE、FTP SCHEDULE、その他)

3.2.4.1. モーション

●モーションエリア - モーションを検知する領域を設定します。

▶全て - 全領域を選択します。

▶一部 - ブロックを選択します。(検知領域は黄色のブロックとして表示されます。)
選択は、リモコン/フロントボタンまたは、マウスのドラッグのボタンから選択できます。

▶全てクリア - すべてのエリアをキャンセル。

●感度 - モーション検知の感度を設定します。

感度:0~9まで(1=低 9=高 感度設定となります。)

●アラーム出力 - モーションが検出された場合にアラーム出力信号を出力します。



3.2.4.2. センサー



●録画 - アラーム入力があった場合に録画するチャンネルを選択します。

●タイプ - センサーの入力タイプ(NO/NC)を選択します。

●アラーム出力 - アラーム入力検出された場合にアラーム出力信号を出力します。

3.2.4.3. ビデオロス



ポート1にアラーム出力を設定した場合、ビデオロスが指定チャンネルで発生するとアラーム出力信号を出力します。

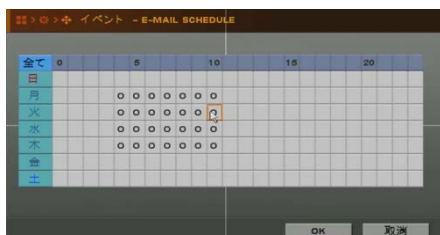
3.2.4.4. E-MAIL

メールに関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

3.2.4.5. FTP

FTPに関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

3.2.4.4 E-MAIL SCHEDULE



この機能に関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

※E-MAILは、スケジュールを設定しないと出力されません。このスケジュールは録画スケジュールとは別扱いとなります。

3.2.4.5. ALARM SCHEDULE

この機能に関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

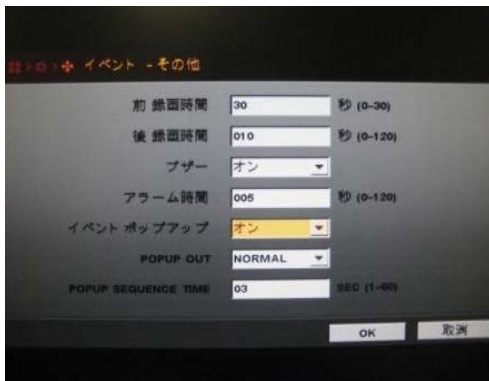


※アラーム信号は、スケジュールを設定しないと出力されません。このスケジュールは録画スケジュールとは別扱いとなります。

3.2.4.6. FTP SCHEDULE

この機能に関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

3.2.4.9. その他



- 前 録画時間 - イベントが発生した時間の前から録画する時間(0～30秒)を入力します。
- 後 録画時間 - イベントが発生した後の記録する時間(0～120秒)を入力します。
- ブザー - オンが選択されている場合、アラーム出力の時間だけブザーが発音します。
- アラーム時間 - イベントの発生時にアラーム出力の継続時間を入力します。
- イベントポップアップ - オンが選択されているとき、イベントが発生すると、そのチャンネルがポップアップ表示されます。
- POPUP SEQUENCE TIME- ポップアップしたチャンネルの表示継続時間を設定します。

注>イベント発生中に他のチャンネルのイベントが発生した場合は、POPUP SEQUENCE TIME継続中であっても即、新しいイベントチャンネルに切り替わります。

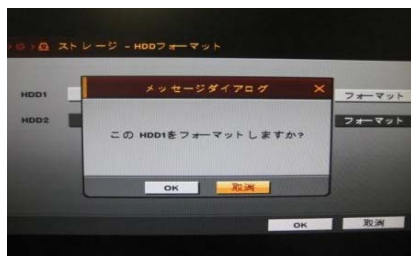
3.2.5. ストレージ

録画媒体についての設定を行います。

3.2.5.1. HDD フォーマット

新しいHDDを使用するためには、HDDをフォーマットする必要があります。

- (1)フォーマットするHDDを選択し、「フォーマット」アイコンをクリックすると、フォーマット再確認のメッセージダイアログが表示されます。
- (2)フォーマットした後、システムが再起動します。



3.2.5.2. HDD SMART



このウィンドウは、現在のHDDの温度を示しています。
SMARTでオンを選択すると、各項目の値を変更することができます。
(1)温度のしきい値:HDDの温度が値を超えるとビープ音が発生し、画面内にメッセージが表示されます。
(2)INSPECTION CYCLE(検査のサイクル):どのくらいの頻度でHDDの温度をチェックするかの設定です。
(3)DAILY TIME:INSPECTION CYCLEで「1日毎」と設定した場合のチェックを行う時刻を入力します。

3.2.6. ネットワーク

この機能に関しては「別紙ネットワークの手引き」をご参照ください。

3.2.7. システム



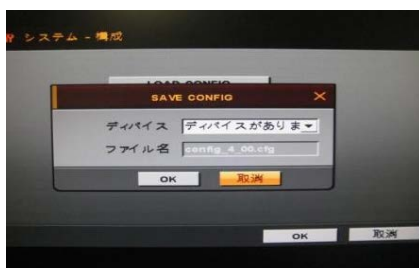
「システム」アイコンをクリックすると、システムメニューは、6つのサブメニューに分かれています。

(構成、時間、入力機器、ユーザー、アップグレード、DVRをOFFにする)

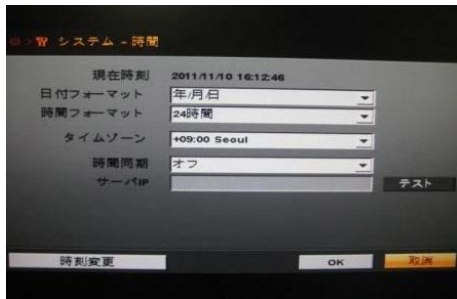
3.2.7.1. 構成

同じ設定値で他のDVRを設定するために、USBフラッシュメモリーでシステム設定値を保存(インポート)し、またはUSBフラッシュメモリーに保存した設定値を他のDVRにロード(エクスポート)することができます。

- LOAD CONFIG-SAVE CONFIGで保存された録画設定ファイルを、USBフラッシュメモリーからロードして設定を反映させます。同一機器(NS-8040R/NS-8080R/NS-8160R)の設定を複写する際や、移設の際に使用します。
- SAVE CONFIG - 稼働中のシステム設定値を、USBフラッシュメモリーにコピーし保存します。
- デフォルト - 工場出荷時のデフォルトへ設定値を変更。



3.2.7.2. 時間



- 日付フォーマット - 日付の形式を選択。
- 時刻フォーマット - 時刻表示のタイプを選択
- タイムゾーン - タイムゾーンの調整を行うために、お住まいの地域を選択。
タイムゾーンを変更後、システムが再起動されます。

●時刻同期

この機能は、すべての時間単位で接続されているサーバから定期的にDVRの時刻を同期させるためのものです。

- サーバIP - タイムサーバのIPアドレスを入力。

時間同期でSMTPを選択し、サーバIPのIPアドレス入力後、サーバIPのテストを選択して、タイムサーバが機能しているかどうかを確認します。

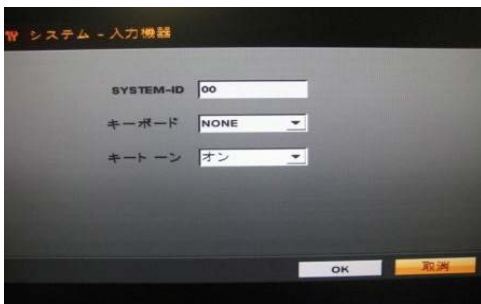
この機能が選択されている場合、DVRは、1時間ごとにタイムゾーンの時間を参照します。

そして、DVRの時刻がタイムサーバに合わせて変更されます。

＞例:ntp.nict.jp

● 時間変更 - タイムサーバが選択されていない場合、時間はマニュアルで変更することができます。

3.2.7.3. 入力機器



- SYSTEM-ID - このDVRに登録するIDを設定します。
- キーボード - DVRシステムは、制御用キーボードと接続することができます。
- キートーン - SYSTEM-IDステータスの設定がONに選択されている場合は、SYSTEM-IDはDVRがリモコンから操作キーを受け入れるかそうでないかを示し、ボタンが押されるたびに電子音がします。

SYSTEM-IDの使用法

- ・一つのリモコンで複数のDVRを操作する場合、SYSTEM-ID

を設定して、個々のDVRを区別します。

- ・SYSTEM-IDが0(ゼロ)以外のときに画面にSYSTEM-IDが表示されます。

- ・リモコンのDVR-IDボタンを使用することにより、リモコンは、SYSTEM-IDと一致させることができます。

(SYSTEM-IDが00の場合、SYSTEM-IDは表示されず、システムは全てのリモコンからキー入力を受け付けます。)

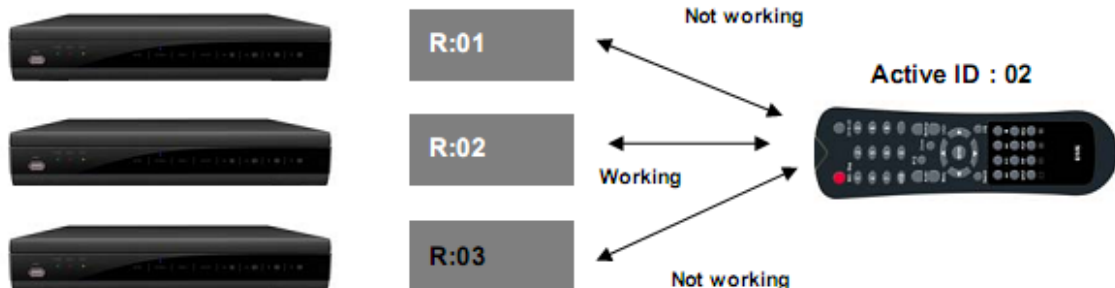
SYSTEM-IDの色が黄色の場合、システムはリモコンのキー入力を受け付けます。

- ・SYSTEM-IDおよびActive-IDが一致していない場合、SYSTEM-IDの色が赤になり、システムはリモコンのキー入力を受け付けません。※電子音のみ発生しますが、カーソルは移動しません。

- ・リモコンでSYSTEM-IDと一致させる方法

(1) リモコンのDVR-IDボタンを押します。(短く2階電子音がします)

(2) 次に、2つの数字ボタンを使用して希望のSYSTEM-IDナンバーを入力します。(例:02または03)



上記設定で、複数のDVRを1台のリモコンで制御できます。

※複数のDVRと複数のリモコンを混在して運用することはできません。上記図面の運用のみ対応いたします。

3.2.7.4. ユーザー

ADMINとNETUSERの2つの固定のユーザーコマンドがあります。権限の値はすでに設定され、以下の画像のように変えられません。また、最大4つの権限アカウントを作成することができます。各ボックスをチェックして、DVRシステムを制御するための制限された権限を与えます。

- ユーザー - 2つのユーザーID (ADMIN、NETUSER)は変更できません。別途4つのユーザーを追加できます。
- パスワード - ADMINとNETUSERのパスワードは" 0000" に設定されています。新しいアカウントを作成する場合は、新しいID/パスワードを入力してください。
- ※パスワードを紛失した場合は、弊社宛にお送り下さい。通常操作では復旧できません。
- セットアップ - セットアップメニューに入る許可を与えるユーザーは、ボックスにチェックを入れます。
- DVR - SETボタンをクリックすると、DVRのセットアップの詳細がポップアップ表示されます。希望のユーザーにREC、PLAY (検索)、BACKUP、PTZの許可を与えることができます。
- NETWORK - このボックスをチェックすると、ユーザーはネットワーク (ウェブ、CMS) を介してDVRへのアクセスを許可されます。
- TIME OUT - これをオンに設定すると、入力された時間内に操作がない場合、ログオフします。(オフにした場合はログイン操作の必要はありません。)
- MONITOR - オンを選択すると各ユーザーにモニター監視の権限を与えます。その後カメラ選択ボタンをクリックしますと表示できるチャンネルを選択できます。

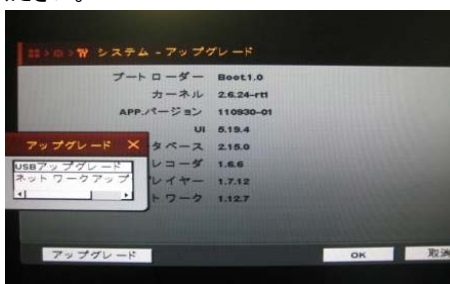
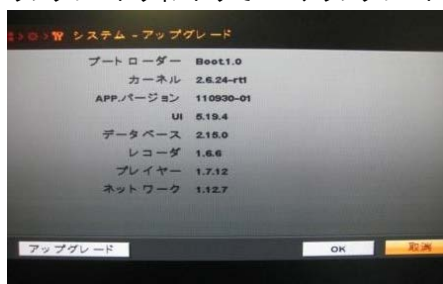


3.2.7.5. アップグレード

このメニューを開くと、DVRの現在のファームウェアバージョンを確認することができます。DVRのファームウェアをアップグレードしたい場合、以下の手順に従ってください。

3.2.7.5.1 USBアップグレード

USBフラッシュメモリーを使用してDVRシステムをアップグレードします。アップグレードウィンドウでUSBアップグレードを選択してください。

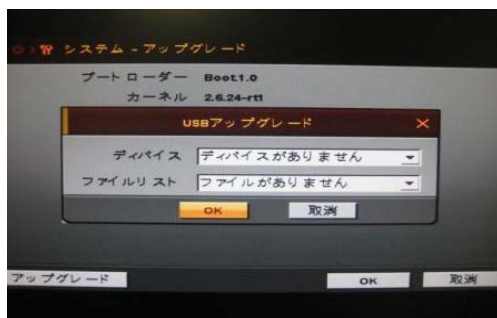


- (1) USBフラッシュメモリーにファームウェアファイルをコピーします。
- (2) USBポートに、ファームウェアがコピーされているUSBフラッシュメモリーを接続します。
- (3) ファームウェアアップグレードのアイコンを押すと小さなウィンドウが表示されます。
- (4) OKアイコンをクリックし、ポップアップ確認したらメッセージのダイアログをクリックします。
- (5) 続行するためにOKをクリックします。
- (6) アップグレードするには、数分かかります。アップグレードの完了後にDVRが自動的に再起動されます。

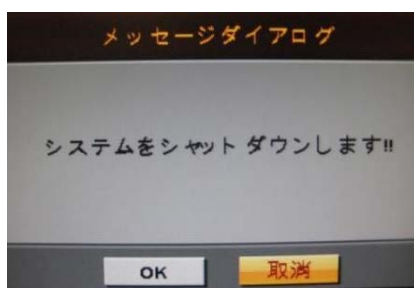
3.2.7.5.2. ネットワークのアップグレード

アップグレードのウィンドウ内のネットワークアップグレードを選択してください。

- (1) アップグレードを選択すると、小さなウィンドウが表示されます。
 - (2) ネットワークのアップグレードを選択し、ENTERボタンを押します。
 - (3) サーバのIPとファイル名が正しいかどうかをチェック。サーバIP/ファイル名の情報が間違っている場合、テキストのダイアログボックスで新しい情報を入力してボタンを押します。
- 注: お使いのサプライヤーを介してサーバのIP/ファイル名の情報を確認してください。
- (4) [OK]を選択し、ソフトウェアのアップグレードを開始するENTERボタンを押します。
- アップグレードが完了したら、システムは自動的に再起動されます。



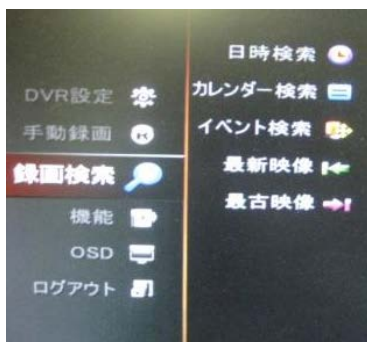
3.2.7.6. DVRをOFFにする



DVRの電源をオフにしたい場合は、メニューのDVD設定をクリック後、システムをクリックしてサブメニューのDVRをOFFにするをクリックすると下画面のメッセージダイアログが表示されますので、OKボタンを押してください。

ログオフを確認した後、電源をOFFにします。

3.3. 録画検索



このメニューは5つのサブメニューに分かれています。

(時間検索、カレンダー検索、イベント検索、最新映像、最古映像)

リモコンのSEARCHボタンを押すか、録画検索を押してください。録画検索のサブメニューが表示されますので、任意の検索モード(日時検索、カレンダー検索、イベント検索、最新映像、最古映像)をクリックして選択してください。選択した検索モードの検索画面がポップアップします。各検索画面から見たい映像を検索します。

再生操作の方法は26ページを参照してください。

3.3.1. 日時検索



- (1) 再生したい日時を入力します。
- (2) 次に、OKボタンにポインタを移動し、ENTERボタンを押します。
指定した日時から再生が開始されます。

3.3.2. カレンダー検索

- (1) カレンダーによる検索を選択した場合、カレンダーは以下のように表示されます。
- (2) ◀▶▲▼ボタンを押して再生したい日付を選択し、ENTERボタンを押します。
- (3) ◀▶▲▼ボタンを押して再生したい時間/分を選択し、ENTERボタンを押します。
- (4) [OK]を選択し、ENTERボタンを押します。

注:

- ・カレンダーの日付で記録データが存在しない日は、日付の色が灰色です。カレンダーの日付で記録データが存在する日は、日付の色が赤色になります。
- ・茶色の日付を選択すると、バックがオレンジ色になります。選択した日付のHour(時間)とMin(分)の長方形のバーが白またはオレンジ色で表示されます。

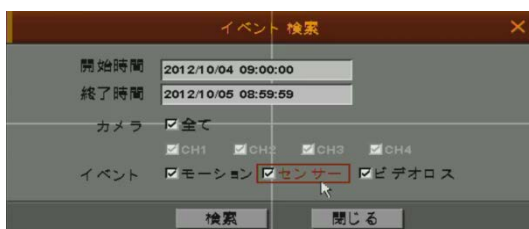


白いバーは記録データはありません。オレンジ色のバーが録画データのある時間です。

Hourのバーで再生したい時間帯のオレンジ色の長方形を選択し、次に、Minのバーで再生したいオレンジ色の長方形を選択します。(バーが茶色に変わります。)

指定した(赤色に変わったバー)時間帯から再生が開始されます。

3.3.3. イベント検索



- (1) イベント検索を選択した場合は、次のウィンドウが表示されます。
- (2) イベントを検索するために再生したい開始時間と終了時刻を入力します。
- (3) 目的のチャンネルを選択します。
- (4) 必要なイベントタイプを選択します。
- (5) 検索ボタンを選択し、ENTERボタンを押します。

3.3.4. 最古映像

再生は、最も古い記録されたデータから始まります。

3.3.5. 最新映像

再生は、最新の記録データから開始します。

3.4. 機能

ファンクションメニューは5つのサブメニューに分かれています。
(PTZ、SPOT、音声、バックアップ、ログ履歴)

3.4.1. PTZ操作

- ・リモコンのP/Tボタンを押すか、またはファンクションメニューのPTZを選択すると、画面がフルスクリーンモードに変更され、PTZカメラを制御することができます。
- ・PTZのウィンドウで、Advanceアイコンを押すと、PTZアドバンスのウィンドウがポップアップします。

3.4.1.1. PTZ 基本



- ・ ◀▶▲▼ボタンを押した場合、カメラは右/左に向きを変えます。またはアップ/ダウンに向きを変えます。
- ・ リモコンの◀▶ボタンまたは検索/ログボタンを押すか、またはアイコンの(+)、(-)をクリックすると、カメラがズームインまたはズームアウトします。
- ・ リモコンの数字ボタンを押すと、対象のカメラが変更されます。

3.4.1.2. PTZ 詳細 アドバンスメニュー



フォーカス

- ① + : フォーカス-IN.
- ② - : フォーカス-OUT
- ③ オート : オートフォーカスモード.

アイリス

- ① + : アイリスオープン
- ② - : アイリスクローズ
- ③ オート: オートアイリスモード.

スピード

- ① + : 速度制御増加
- ② - : 速度制御減衰

プリセット

- ① 設定されたプリセット位置に進む場合はGOボタンを押します。
移動したいプリセットナンバーを選択します。
- ② 設定されたスキャン位置に進む場合はスキャンボタンを選択します。
スキャンナンバーを選択します。

- プリセット - 位置がプリセットメニューで設定されています。[MENU→DVR設定→カメラ→プリセット]
- スキャン-リストはスキャンポイントメニューで設定されています[MENU→DVR設定→カメラ→スキャンポイント]

OSD

カメラ自体がOSD機能を持っている場合にOSDメニューのアイコンをクリックすると、OSDはカメラのOSDに準拠して表示されます。OSDがカメラでサポートされていない場合、OSDのメニューは動作しません。

注:- OSDコントロール機能は、“PELCO - D”プロトコルのみサポートされています

3.4.2. 音声



- ・ 外部スピーカーで音を出すために音声出力を設定します。
- ・ オーディオは単画面表示でのみ動作します。
- ・ オーディオの音量を制御することができます。
- ・ オーディオボリュームを設定する前に、ON/ OFFテストアイコンを使用してテストすることができます。

3.4.3. バックアップ

USBフラッシュメモリーに保存しておきたいデータをバックアップすることができます。

USBバックアップは、DVR本体のUSBポートにUSBフラッシュメモリーを接続します。

チャンネルと希望時間を選択し、バックアップのアイコンをクリックします。またはリモコンの[BACK UP]ボタンを押してください。



- デバイス - バックアップするデバイスが選択されます。
- チャンネル - バックアップするチャンネルを選択します。
- TO Avi - AVIファイルとしてバックアップファイルを作成することができます。
※AVIファイルでのバックアップは、1チャンネル毎に行います。
- TIME STAMP - AVIファイルのデータにタイムスタンプ(時刻の表示)を添付するか選択します。
※AVIでないバックアップ時は、ビューアソフトが自動的にバックアップデータと一緒にデバイスにコピーされます。

●FROM - バックアップを開始する日付時刻を入力します。

●TO - バックアップする日付の終了時刻を入力します。

※推奨バックアップ

3.4.4. ログビュー

・システムログの状態を見るか、またはUSBフラッシュメモリーに保存し、PCでそれを見ることができます。



- イベントタイプ - 検索したいイベントの種類を選択します。
- FROM - 検索開始する、日付&時刻を入力。
- TO - 検索終了の、日付&時刻を入力。
- バックアップ - USBフラッシュメモリーにログデータを保存する
- 検索 - [検索]アイコンをクリックすると、DVRのログリストを見ることができます。

3.5. OSD

リモコンでOSDをクリックすると、OSDメニューでの選択内容に応じて画面に表示されたり消えたりします。

メインメニューのOSDオフをクリックすると、OSDメニューでの選択内容に応じて表示されなくなります。

詳細は15ページを参照してください。

[DVR設定->ディスプレイ->OSD->OSD ウィンドウ-> 各項目を選択もしくは入力設定]

マウスをクリックまたは移動すると、再度表示されます。

3.6. 手動録画

メインメニューの手動録画やリモコンのREC/Stopボタンを押した場合、手動によって録画開始したり停止したりします。

録画が開始される前に下記事項を確認します。

- 日付と時刻の値が正しく設定されているかどうかを確認してください。

- HDDがフォーマットされているかどうかを確認します。HDDがフォーマットされていない場合、HDDフォーマットをしてください。

HDDがまだフォーマットされていない場合 [HDDをフォーマットする方法]を参照してください。

- DVR設定のサブメニューの録画設定に戻ります。

- パラメーターやスケジュールに適切な値を選択します。

- 録画は、スケジュール上の選択内容によって異なります。

3.7 ログアウト

このアイコンをクリックすると、DVR操作できるユーザーを変更することができます。

ログアウトメニューをクリックした後はメインメニューが表示されなくなります。

任意のリモコンのボタンを押すか、またはマウスを動かすと、LOG INウィンドウが表示されます。

ログインIDでユーザーを変更し、パスワードを入力し、DVRにアクセスすることができるようにしてください。

4.トラブルシューティング

製品の故障が発生した場合に、サービスを要求する前に、通常可能な解決策については、以下のリストを確認してください。

1. 製品の電源が入っていない。

電力が十分供給されているかどうかをチェックしてください。

2. 製品が、“Loading” または “Starting UI…”を続けて表示している場合。

製品はHDDなしで起動してはいないかチェックしてください。

製品にHDDがあっても“Loading” または “Starting UI…”の表示が続く場合は、緊急のアップグレードを試すことができます。

電源の入り切りによって復旧しない場合は、販売店や施工技術担当までご連絡ください。

3. カメラの映像がモニターに表示されない。

製品の背面パネルのビデオ入力/出力の接続を確認してください。

カメラの状態やカメラの映像/電源ケーブルの接続を確認してください。

メニューでカメラの状態が表示状態になっているかを確認します

4. オーディオを聞くことができない。

DVRの背面パネルにあるオーディオ入力/出力の接続を確認してください。

オーディオは単画面表示でのみ動作します。

5. 以前の録画データを見つけることができません。

製品は自動的に上書き機能動作します。それは、一番古い録画データをHDDがいっぱいになったとき上書きします。

6. 製品がUSBフラッシュメモリーと互換性がありません。

USBフラッシュメモリーが保護(パスワード)機能にあるかどうかを確認してください。保護機能が作動していると接続できません。

7. ネットワークに接続できません。

メニューのネットワークは、ネットワークポート、ID、パスワードとして正しく設定されているかチェックし

インターネット回線が使用可能であるかどうかを確認します。インターネット回線をチェックするために、サービスプロバイダにお問い合わせください。

発生している問題が解決しない場合、または上記されていない場合、サービスセンターまたはお近くの販売店にお問い合わせください。

■仕様書

映像	映像入力	4CH 1.0vp-p/75Ω (BNC)
	映像出力	1×VGA/1×BNC(SPOT選択可)
音声	音声入力	1CH 2.0vp-p/600Ω (RCA)
	音声出力	1CH 2.0vp-p/600Ω (RCA)
表示	ディスプレイモード	4分割、各画面、シーケンシャル、ズーム(9エリア×2倍)、非表示、ポップアップ表示
	ディスプレイレート	120fps
	ディスプレイ解像度	800×400 (VGA) /720×480 (BNC)
録画	圧縮方式	H.264
	マルチモード	クワッドディプレックス(ライブ、再生、録画、遠隔監視 同時)
	録画モード	連続/モーション/アラーム/スケジュール(併用録画可)
	録画レート/解像度	60fps(720×480)/120fps(720×240/360×240)
	モーション録画	感知エリア設定(8×8)、感度設定(10段階)
	プライバシーゾーン	8×8エリア設定
再生	表示	4分割、各画面
	検索モード	日時/カレンダー/イベント(モーション、アラーム)
	再生速度	ノーマル、早送り(×4, 8, 16)、巻戻し(×4, 8, 16)、一時停止
	バックアップ/コピー	USB2.0×2/メモリスティック/HDD
ネットワーク	インターフェイス	10/100Base-T Ethernet(RF-45)/DynamicDN 対応*
	通信	RS-485
	WEBブラウザ	Internet Explorer5.0以上、3G
その他	HDD	SATA 1TB(最大2TB)
	アラーム入出力	1入力/1出力
	通信	RS-485
	電源	AC100V(DC12V/3.5A ACアダプタ)
	消費電力	最大36W
	使用条件	5℃～60℃/10%～90%RH以下
	外形寸法/重量	260(W)×45(H)×242(L)mm/1.8Kg(HDD含む)
	付属品	DC12V/3.5A ACアダプタ、リモコン、クライアントソフト(CD)

※DynamicDNSの設定をすることで、日々のランニングコストが必要な固定IPを取得する必要がなく、ネットワークの監視が可能となります。(安定的な運用には固定IPの取得を推奨します)

録画時間の目安

HDD: 1TB

画像サイズ	画質	60フレーム/秒	30フレーム/秒	20フレーム/秒	12フレーム/秒	4フレーム/秒
720×480	基本	1032時間	2064時間	3096時間	5160時間	15480時間
	普通	679時間	1358時間	2037時間	3395時間	10185時間
	高	528時間	1056時間	1584時間	2640時間	7920時間
	最高	429時間	858時間	1287時間	2145時間	6435時間
画像サイズ	画質	120フレーム/秒	60フレーム/秒	30フレーム/秒	12フレーム/秒	4フレーム/秒
720×240	基本	1010時間	2020時間	3030時間	5050時間	15150時間
	普通	667時間	1334時間	2001時間	3335時間	10005時間
	高	504時間	1008時間	1512時間	2520時間	7560時間
	最高	417時間	834時間	1251時間	2085時間	6255時間
画像サイズ	画質	120フレーム/秒	60フレーム/秒	30フレーム/秒	12フレーム/秒	4フレーム/秒
360×240	基本	1744時間	3488時間	5232時間	8720時間	26160時間
	普通	1200時間	2400時間	3600時間	6000時間	18000時間
	高	888時間	1776時間	2664時間	4440時間	13320時間
	最高	736時間	1472時間	2208時間	3680時間	11040時間

*表記録画時間は、連続録画で上書き設定の場合の上書きまでの録画保存時間です。

*撮影対象や環境条件によって録画時間は大幅に変動します。

(常に動きのある映像を録画する場合は録画保存時間が短縮されます。)

*上記フレーム数はカメラ毎の使用フレーム数の合計を意味します。

尚、録画方式をモーション検知自動録画に設定する事で、上書きまでの録画保存時間が大幅に延長できます。

(モーション検知自動録画設定の場合は、表記時間が総録画時間となります)

*音声を記録する場合は、表記録画時間から約25%短縮されます。

保証書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
(修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります)

- 1.本保証書がない場合
- 2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、
または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。
- 3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合
- 4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷
- 5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、
外部に原因がある故障および損傷である場
- 6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

- 保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
- お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
(送料については弊社負担とさせていただきます)
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。

- 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。

- 弊社ではセンドバック(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)方式でのみ、対応を行っております。

- 修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。



注意

- 電源は家庭用AC100V(50Hz/60Hz)のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。
- 必ず付属のACアダプターを使用してください。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。
- 本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。
- 長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
- 落雷の恐れがある場合は、すみやかに本器を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。(停電時のプレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。)
- 本器を次のような場所での使用や保管はしないでください。
●直射日光のあたる場所 ●特に高温低温になる場所 ●温度変化の激しい場所
●振動の多い場所 ●油煙、湯気、湿気があたる場所 ●静電気が多く発生する場所
●強い磁気や電磁波が発生する装置(発電機やアンプ)が近くにある場所
●機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所
- 本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。
- 金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。



録画機についての注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本器の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。
- 3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。
- 主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません(消耗品扱いとなります)。
次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
●衝撃、振動をあたえないでください。 ●電源の入切りを頻繁に行わないでください。
●推奨環境:周辺温度25℃以下 ●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
●録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。
- 本器の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

- 本器の故障・誤動作・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。
- ソフトウェア(ファームウェア)、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。
このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。
- 公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

- 本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。

- お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

- 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、弊社では一切責任を負いません。

- 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書	
※保証期間	ご購入日 年 月 日 より 1 年間
製品型番	NS-8040R/NS-8080R/NS-8160R
※製造番号 シリアル NO.	
お客様	お名前
連絡先	ご住所
ご購入 代理店様 所在地	

株式会社NSK

〒461-0004 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15

TEL:0570-666-797

電話受付：月～金曜日、9：00～12：00

13：00～17：00

※祝祭日、弊社指定休業日を除く

弊社 HP：http://www.n-sk.jp

お問合せ Mail：hp@nsk-sec.co.jp